

雨・雨・雨、子どもたちも外で思い切り体を動かして遊べない日が続いていて、梅雨明けが待ち遠しいですね。学習はマスク着用ではありますが、気づいたことを話す、じっくり考える、言葉を選んで書くなど集中して取り組み、今学期のまとめや復習を頑張っていきましょう！

今回は、見て見て授業の様子①（2年2組）と6年生・3年1組の学習をお伝えします。

見て見て授業①

単元名	「お絵かきゲーム ～わかりやすくせつめいしよう～」	全5時間(本時3/5)
教材名	「ことばで絵をつたえよう」(話すこと・聞くこと)	2年2組 西岡 教諭

めあて

どのようにせつめいすればわかる？
 じゅんじょ、大きさ、形、むきなどに気をつけて絵のせつめいをしよう。

本単元は、話す人は「説明する順序（大きいものから小さいもの）を考え、図のパーツごとにその形や大きさ、向き、位置などについて分かりやすく伝える言葉を用いること」聞く人は、「知りたい情報を注意深く聞き取ること」を目指しています。1次では、刈谷先生と話す人と聞く人になってモデルを示し、「お絵かきグランプリ」を目指すという単元のゴールイメージを持たせたそうです。

本時は、お絵かきゲームに向けて、図形の様子を表す言葉を適切に選んでワークシートに書き話す準備をする時間でした。子どもたちは、様子を表す言葉シートを手元に置いて、説明の仕方をメモしていました。そして、実際に話して聞いている人に伝える活動につなげます。

説明する→上手く書いてもらえない→どのように説明するといいいかな（修正）
 →再度説明する（次はこのように説明したらいいな！）話して直して、聞き手の立場にもなって、言葉の使い方を身に付けられるようにしたいですね。



言葉シートを見ながらメモしています

事後研より

- 図形の様子を表す言葉シートを持たせていて、手元で活用しながら書くことができていた。
- ▼着目点（大きさ・形・向きなど）が書けているか線や印をつけるなど、児童自身で確認させる。自覚させる。
- ▼発言内容は全体に返し（「みんなどう？」「どこが？」「どうして？」など）、子どもたちに判断させる。

6年生「もう怖くない！南海大地震」（防災ポスターを作ろう）交流会

1組と2組合同で、グループで仕上げた防災ポスターを見合って、表現の効果や伝えたいことと資料との関連などを視点として交流会を行っていました。交流後、「大事なところを引用している」「自分が伝えたいことに合った資料を使っている」などの感想が上がりました。



交流前、「こだわりポイント！」を説明します



良さや参考になった点を付箋に記入しています。



ボードに貼った防災ポスターは、各階で他学年に見てもらっています。

3年1組「慣用句を使って短文を作ろう」

国語辞典や「言葉の宝箱（慣用句編）」を活用して意味を確認しながら、短文作りをしていました。



ノートに短文づくり

➡ グループで紹介

意味を確かめながら短文づくり



慣用句を使った文を伝え合っ